

市民放射線被ばく量調査報告会次第

日時 平成24年1月20日(金) 19時～21時

場所 二本松市安達文化ホール

1 開 会 19:00

2 あいさつ 二本松市長 三保 恵一

3 放射線被ばく量(外部・内部)調査結果概要説明、今後の方針 19:10

4 結果概要に係る講話及び質疑 19:30～

(1) 放射線被ばく量(外部・内部)調査結果の見方、考え方、今後の注意点等

茨城県立医療大学保健医療学部放射線技術科学科 准教授 佐藤 斉先生

獨協医科大学国際疫学研究室福島分室 室長(准教授) 木村真三先生

(2) 質疑

5 閉 会 21:00

《放射線専門家チーム略歴》

佐藤斉(ひとし)先生：医学博士、診療放射線技師、第1種放射線取扱主任者。

医療被ばく、被ばく線量評価、正しい計測の為の遮蔽計算等を研究テーマに、核実験場周辺の被ばく調査(現カザフスタン：セミパラチンスク)や、チェルノブイリ原発事故による汚染地域住民の被ばく健康調査中。

木村真三(しんぞう)先生：地球環境学博士。

放射線医学総合研究所や労働安全衛生総合研究所勤務後、23年8月～獨協医科大学准教授。福島原発事故発生後の3月15日以降、放射線測定 of 草分け的存在、岡野眞治(まさはる)氏と共に車で福島県内各地を周り、その調査結果は、NHKのE TV特集「ネットワークで作る放射能汚染地図」として放映。

チェルノブイリ原発事故によるウクライナ キエフ州ナロージチ地区住民健康調査中。